

予算決算常任委員長報告

平成26年3月19日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案21件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る3月10日から17日にわたり委員会を開催し、担当部局長などの出席を求め、慎重に審査いたしました。

議案第1号「平成26年度三次市一般会計予算（案）」については、審査の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

次に、議案第2号「平成26年度三次市国民健康保険特別会計予算（案）」外議案19件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

議案第1号については、

- 1 各種補助金は、それぞれの目的のために有効に活用されるものであるが、中には補助基準が実態に合わず、有効活用が十分に図られていないことが懸念される。支援の目的や地域の実態などを十分に調査し、更なる有意義な活用ができる補助制度とされたい。
- 2 総合計画に基づく実施計画や財政計画は、審査において必要となる資料である。審査時には、内容検討が出来るように提出されたい。
- 3 新市まちづくり計画の進捗率は、地域間により大きな差が生まれており、特に道路事業の進捗率は非常に悪い地域もある。今後の事業計画は、地域審議会の意見を十分に踏まえて推進されたい。

次に、議案第2号について、国民健康保険特別会計においては、多額の繰出金も発生している状況がある。将来を見据えた財政運営を行い、予防医療の取組などを強化することにより、医療費の削減に努められたい。

次に、議案第10号「平成26年度三次市病院事業会計予算（案）」について、

- 1 PET-CT（陽電子放射線断層撮影装置）の導入は、地域がん診療連携拠点病院としての機能充実と、がん医療に対する貢献度は大いに期待できる。機

器の運用を十分に検討し、病院経営の安定に繋がりたい。

2 看護師配置基準 7 対 1 の実現は、診療報酬の増額に繋がる。早期実現のためには、看護師の労働条件の改善や職場環境の整備を行う必要があり、早急に対策を講じられたい。

3 がん患者の身体的、精神的苦痛を和らげる緩和ケアのための相談施設は狭隘で、十分とは言えない。必要な施設整備の拡充について検討されたい。

以上述べました事項のほか、委員会審査において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後、施策に十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。